第2学年〇組　英語科学習指導案

令和元年９月　　日（　）第　校時
生徒数　　名（男子　　名　女子　　名）
場　所　　特別活動室
指導者　　髙橋　朋子
ALT

１．単元名　　Program５　Gulliver’s Travels（SUNSHINE ENGLISH COURSE２）

２．単元について

（１）生徒観（省略）

（２）教材観

本単元は、マイクが読んでいる『ガリバー旅行記』が話題となり、マイクがガリバー旅行記を見ながら内容について説明をしたり、ガリバーが訪れた日本各地についてウッド先生が説明をしたりする場面がある。「観音崎のガリバー祭り」「札幌雪まつり」の紹介等にならって、自分が理想とする街や紹介したい場所について既習表現を活用しながら紹介できる生徒の育成を目指す。

（３）指導観

生徒には、英語を活用して自分の思いや考えを意欲的に表現しようとする姿勢を持たせたいと考える。この題材は、自分の身近な地域に関する様子や事実を分かりやすく伝える力を養うのに適していることから、単元のゴールを「鴻巣市の観光課職員として、市の見どころを外国人観光客にＰＲし、たくさんの観光客を呼び込もう」とする。単に事実を述べる文だけを扱うのでは生徒の心を動かすことは難しいため、生徒が心から表現したいと思える場面設定を工夫し、個人、グループで考えを共有したり、既習表現や既習文法事項を積極的に活用させたりしながら、お気に入りの場所を聞き手にとって分かりやすく表現するための活動を展開していく。本校の研究テーマである「対話的な学びを通した学力向上」を意識し、生徒が仲間の前で生き生きと自信を持って発表している姿をゴールとしてイメージしながら、授業を展開する。

３．単元の目標

・物の存在を表す表現や、接続詞when/ifの用法を理解し、英文の内容を正しく読み取ることができる。
・物の存在を表す表現や、接続詞when/ifの理解を基に、鴻巣市の良さが相手に伝わるように原稿を作り、工夫しながら発表することができる。
・友達の理想の街紹介文を読んで（聞いて）、感想や意見を英文で述べる（書く）ことができる。
・わからない語があっても、意味を推測したりして読んだり聞いたりしている。

４．単元の指導計画（全８時間）

指導計画

時間	◆ねらい　・学習活動
1 本 時	◆There is(are)を正しく使って、自分の理想の街について表現する。 ・教師による町紹介を聞き、There is(are)～.の意味を推測。文法整理。 ・理想の街(My dream town)には何が必要か、自分の考えを地図にまとめペアで意見交換。 ・理想の街(My dream town)について There is(are)～を使ってライティングし、グループ内で発表し合う。
2	◆Section1 の本文内容を理解する。 ・新出語彙と文法確認、CD リスニングと本文理解、リーディング練習 ・前時で書いた My dream town をクラスメイトと回し合いながら読み、互いにコメントする。 →コメントをもとに再度ライティング
3	◆Section2 の本文内容を理解する。 ・新出語彙・文法確認・CD リスニングと本文理解・リーディング練習 ・My dream town をクラスメイトと回し合いながら読み、互いにコメントする。 ・There is(are)～の文法確認テスト
4	◆When を使って、自分の理想の町を紹介する。 ・理想の街について「そこでいつ何ができるのか」、グループで意見交換しながらアイディアをまとめ、書く。 ・ライティングした内容についてお互い読み合い、推敲する。
5	◆Section３の本文内容を理解する。 ・新出語彙・文法確認・ＣＤリスニングと本文理解・リーディング練習 ・前時で書いた When を使っての理想の街紹介をお互い聞き合う。 ・When の文法確認テスト
6	◆If を使って、自分の理想の街を紹介する。 ・Section１～３までの総復習・既習表現の確認 ・理想の街について If と既習表現を使ってライティングし、お互いが書いた内容について推敲する。
7	◆既習事項を活用し、グループで協力して、鴻巣市の良さをＰＲする文を作ろう。 ・自分たちの街の良さをＰＲするためにはどんな材料が必要か、アイディアを出し合う。 ・出し合った情報をもとに原稿、ポスター等を作成し、発表の準備をする。
8	◆観光大使として、鴻巣市の良さをプレゼンテーションしよう。 ・聞き手を意識して、イラストや写真、パンフレット等を用いながら鴻巣市をＰＲする。 ・他のグループのプレゼンテーションを聞き、感想を書く。

５．本時の学習活動（１／８時間）

（１）本時の目標：自分の住みたい街にはどんなものがあるか、相手に分かりやすく伝える

（２）本時の評価：自分の住みたい街にはどんなものがあるか、相手に伝わるように、There is/are ~.を使って正しく書いている

（３）主体的・対話的な学びを通して思考力・判断力・表現力を育む視点に立った活動と手立て

「自分が考える理想の街と、そこにはどんなものがあるのかを分かりやすく伝える」というテーマを設定し、テーマについて友達と意見交換をする活動を通して、生徒に①既習表現を使って自分なりに工夫しながら相手に考えを伝えようとする主体性 ②自分の考えが相手に伝わった喜びや相手と自分の考えの違いに気付く面白さから生まれる自信を感じさせることをねらいとする。手立てとして、まずは教師が理想の街についてのモデルプレゼンテーションを行い、分かりやすく相手に伝えるための姿をイメージさせる。生徒が自分自身の考えを持ってアイディア交換に臨めるよう、ICTの活用や平易な既習表現等を効果的に使用することを通して、生徒の意欲を喚起し、「自分にもできそうだ」「自分もやってみたい」という気持ちを引き出す。ボキャブラリー不足で表現したいことが出来ないということのないよう、生徒に声をかけながらヒントとなる語彙や表現法を適切に与える。

（４）展開

学習活動【時間】	学習内容	※対話的な活動の充実　◎評価規準 △指導上の留意点等
1　Sing a song【2】 2　Greeting 3　Warming-up【10】 ・vocabulary building　【5】 ・describing pictures　【5】	・ペアで教科書巻末の単語を発音し合う。 →単語テスト→単語を使って即興で英文を書く。 ・スクリーンの写真を見て、即興でセリフを考える。	△明るい歌と挨拶で授業を始め、英語学習の雰囲気を作る。 ※単語を発音し合う際には、ペアで発音をよく聞き合う。相手が聞き取りやすい声で発音することを心がける。相手が正確な発音をしているかを確認しながら進める。
4　Small Talk【10】	・教師が住んでいる街についての紹介を聞き、There is（are）～の意味を推測する。 ・教師からの質問に答える。 ・新出文法事項の整理	※生徒⇔教師のインタラクションの際には、教師が既習表現を多用し、今後の活動で生徒が使えるようヒントを示しながら、プレゼンテーションの下地を作る。 △生徒の興味・関心を引くよう、やりとりを大切にしながらテンポよく進める。
5 Activity①　会話練習【５】 会話モデルに従って相手を替えて会話練習を行う。 1. ALT 2.横ペア 3.ペアを替えながら	会話モデル S　：I like Konosu. ALT：Oh, do you? Why? S1　：Because *there is* a movie theater　in Konosu. We can see a movie there. ALT：Nice! I will visit Konosu soon.	△まずは JTE が ALT との会話を示し、イメージをつかませる。 △活動の様子を観察し、より会話らしくなるよう、必要に応じて支援する。 ※会話の際には、聞き手に伝わりやすくするためのポイント（eye

		contact/gesture/ smile）を示す。
6 Activity② 理想の街（My dream town）について There is(are)を使ってライティングする。【18】 ・教師の理想の街についてのプレゼンテーションを聞く。 ・理想の街には何が必要か、まずは「理想の街マップ」を作成し自分の考えを持つ。 →自分の考えについて隣同士交流する（日本語）。 ・理想の街について There is(are)～を使ってライティングする。 →３人組で発表し合う。	【予想される生徒のライティング例】 This is my dream town. There is a big library near my house. I need a library because I like books. There is a CD shop near my house. I want a CD shop because I like music. There is a convenience store near my house.	**生徒に付けたい力** **既習事項や知っている表現を使って自分の考えを分かりやすく書き伝える力** ◎１．There is(are)～. が表す意味や使用場面を理解し、正しく使っている。 ２．既習表現を工夫して取り入れている。 ３．相手に伝わるよう意欲的に発表している。 （本時は◎を中心に評価し、他の２項目は指導につなげる評価とする。） △slow learners には、「理想の街にあるとよいものを最低３つは表現できるようにしよう」と具体的な目標を与える声掛けをし、表現のヒントを与えながら進める。上位層の生徒には、パターン通りの表現だけでなく、自分が知っている表現を活用しながら、より相手に伝わりやすい書き方の工夫をするよう促す。
8 Consolidation【５】 ・本時の学習内容を自分の言葉でまとめさせる。 ・目標を振り返り、気付いたことを書く。 ・ライティング用紙を提出する。 ・次回の授業の予告	【予想される生徒の振り返り例】 ・自分の理想の街について、習った表現を使いながら自分なりに書き、友達と意見交換することができて面白かった。次回は There is を使って書かれたストーリーを理解できるようにしたい。	△本時の目標に迫れたか、自分の言葉で振り返らせ次回につなげる。
9 Greeting		△規律ある明るい挨拶で終える。

（４）板書計画

Wednesday, September 18 th, sunny

goal 理想の街について相手にわかりやすく伝えよう

鴻巣にはいい公園があります。

There is a nice park in Konosu.

私の家の近くにはコスモス畑があります。

There is a cosmos field near my house.

map of my dream town!